

# 倉田コミュニティハウス通信

## 2012年4月号 NO. 65

〒244-0816 戸塚区上倉田町 1865-4 Tel/fax 045-866-1800

楽器講座第3弾

# フルート講座始まります。



立ち姿の美しさで人気があるフルート。  
美しい響きのメロディを演奏してみませんか。  
プロの講師が最初から丁寧に教えます。  
アンサンブルも楽しめます。



対象：楽器をお持ちの方

費用：6,000円（10回分の受講料及び教材費を含む）

定員：A. 初心者・初級者 8名  
B. 経験者・中級者 8名

日程：金曜日 全10回

A. 午後5:15～午後6:45

B. 午後7:00～午後8:30

5月25日	6月8、22日	7月13、27日
8月10日	9月14、28日	10月12、26日

申込み：5月7日（月）午前10時から来館、電話にて受け付けます。  
来館の方は来館時に、電話にて申し込みされた方は5月20日（日）  
までに来館の上、受講料をお支払いください。  
＊レッスン開始後のキャンセルや欠席の場合は、受講料をお返しで  
きませんので、ご了承下さい。詳しくはお問い合わせ下さい。



### 講師紹介

山縣礼香(やまがた あやか)

神奈川県出身。2010年洗足学園音楽大学卒フルートを村尾真琴、酒井秀明  
菅井春恵の各氏に、室内楽を酒井秀明、清水将仁の各氏に師事。  
在学中、パウル・マイゼン氏のマスタークラスを受講。ロマーノ・プッチのマスタ  
ークラスを数回受講。中心に、湘南・横浜地区で吹奏楽のフルート指導、個人  
レッスン、演奏活動を行っている。

4月の予定表詳しくはお問い合わせ下さい。

日			
1(日)	<b>抽選会</b>	<b>午前 10時から 2012年 5月分の抽選会です。</b>	
3(火)	<b>1・2・3クラブ&amp; フリースペース</b>	1歳～未就園児向けの子育て支援です。	申し込みは終了いたしました。 <b>午後 0時から 1時まで</b> は フリースペースになります。
7・14 21・28 (土)	<b>3時になったら ラジオ体操プラスお茶</b>	0歳～高齢者 どなたでもどうぞ	<b>簡単な体操をして、その後 お茶会です。参加費 100円です。</b>
15(日)	<b>気軽にコンサート vol19 クラシックギターの調べ</b>		午後 1時 30分開場、午後 2時開演 定員:先着 60名 予約は要りません。 無料です。詳細はお問い合わせ下さい。
17(火)	<b>0歳児クラブ</b>	0歳児向けの子育て支援です。	申し込みは終了しましたが、 ご希望の方はお問い合わせください。
17(火)	<b>フリースペース</b>	親子の遊びスペース	<b>午前 11時から午後 0時まで</b>
18(水)	<b>ぴよぴよクラブ</b>	0～1歳半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	<b>午前 10時から午後 0時まで</b> 定員 30組。人数によってはお断りする こともあります。 <b>活動費 50円です。</b>
20(金)	<b>サロン上倉田</b>	高齢者・幼児向けサロン 上倉田社協共催事業	お年寄りも大人も子供も 楽しいひと時をお過ごしください。 <b>午前 10時から午後 2時まで</b>
23(月)	<b>休館日</b> 全館点検のためお休みいたします。		
25(水)	<b>上倉田社協食事会</b>	高齢者向け会食会 上倉田社協共催事業	おいしいお食事を食べて、 ゆっくりお過ごしください。 <b>午前 11時半から午後 2時まで</b>
27(金)	<b>ハートぽっぽクラブ</b>	1歳半～2歳半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	<b>午前 10時から午後 0時 30分まで</b> 定員 30組。人数によってはお断りする こともあります。 <b>活動費 100円です。</b>

美しく澄んだ音色を探していったい何十年になるだろう・・・思えば幼い頃、あの「みかんの花咲く丘」で有名な故川田正子・海沼実両氏率いる『音羽ゆりかご会』に通い、歌を教えていただいていた時からだった。終戦後の日本人の心に明るさと希望を与えた川田先生の高く美しい声に憧れた。一生懸命練習し「いつかあんな声で歌いたいな」と幼い私はしっかりと心に夢を持った。高校時代にコンクール合唱で、しっかりとした発声を教えていただき、その後4年間声楽の勉強をして、音楽家が必ず求める『音色』探しが始まった。

声は自分で組み立てていく、買い替えもできない、いつ朽ち果ててしまうかもわからない楽器。身体を大きな太い木に見立て、息を身体の外に放出する。骨や筋肉を無理なく使い、リラックスの中で音を作っていく。これじゃあだめ、癖が抜けない、暗い等などの悩みを抱え、美しい響きを探し求める。時間を見つけては追求し続けたいものの、音を出せる施設はほとんどない。

数年前に戸塚のプロジェクトの会議中に「歌える部屋がなくて」と呟いたら「それなら上倉田のコミュニティハウスがありますよ」と教えていただき、初めて来館した時、音楽室に入りとても感動した。「良かった、何も気にすることがないんだ」ここは音楽室が孤立していて、上が道路なので周辺を気遣う事もない。私にとっては願ってもいない練習場所だ。

良い音楽室は世俗的なことを一切忘れられる空間で、外からの刺激が一切「無」の状態だ。楽譜と向き合うと自然と自分の心も無になり、より高い透明度を求める。この「無」の中で音を出す瞬間がたまらなく好きだ。身体を作る為に体操をすることもできるし『良い声と音楽』に徹する時間を持てる。一日に2～3時間の大変貴重な時間。詩と音楽が生き還り、注ぎ込まれた精神が作曲家の想いに近づいていく。練習が終わったあとの心と身体の充実感は何にも代えがたいものがある。歌う施設を探す時に音楽のことをわかっただけでない事が多い中、館長を始め、スタッフの方の中にも楽器演奏をする方がいると聞き、とても心強く安心して使わせていただいている。スタッフの優しさや心配り、温かさが建物の木の温もりとマッチして、安心感を与えてくれる。こんなに良い施設を使わせていただけることに大変感謝している。いつかあの夢が叶う日がきたらいいな！

《M. S》



## スタッフのひと一言

“フェルメールからのラブレター展”を鑑賞して…

皆さんは17世紀のオランダの画家 フェルメール をご存知ですか？世界中に現存する作品は30数点しかなく、その貴重な絵画は修復を施され現在に至っています。

先日、私は日本初公開となる<手紙を読む青衣の女>を一目見ようと思い、渋谷へ出かけました。静まりかえった館内を解説を読みつつ歩みを進めると、広い空間に優しい輝きを放つその絵はありました。両側には<手紙を書く女><手紙を書く女と召使い>があり、その3点の絵が放つ圧倒的な存在感に、私はしばし足を止め、時間を過ごしました。フェルメールは光と陰影の画家と呼ばれています。キャンバスには手紙を持つ手に差し込む太陽の光と、それと対比するかのよう、薄暗い色使いで背景が描写されていました。当時は、手紙がコミュニケーションをはかる大事な道具であった時代です。開封する瞬間までの待ち焦がれた長い時間や揺れ動く感情の機微までも表現しているようで、何か胸が熱くなるのを感じました。

静寂の世界から一歩外に出ると、人々は喧噪に満ちた街の中で、携帯電話を片手に足早に行き交っていました。

《S. K》